

## 霊芝の実験的血栓形成 及び人赤血球変形能への影響

霊芝の臨床応用は非常広く、抗老化作用、抗高血圧症及びコレステロールを減少させる作用があると報告されている。近年、国内外に高血圧、狭心症、高脂血症の予防及び治療、脳血栓に使用されている。また血小板凝集の抑制<sup>(2-5)</sup>細胞免疫能を高め<sup>(6-7)</sup>、慢性肝炎の治療<sup>(8)</sup>、皮膚炎、多発性筋炎<sup>(9)</sup>慢性気管支炎、喘息、不整脈、克山病、精神虚弱、腫瘍等にも使われている。

脳血栓形成の患者は赤血球変形能と健常者の間に明らかな差がある。本研究は霊芝の in vitro に於いての抗血栓作用が証明され、赤血球変形能への影響も併せて検討した。実験により、霊芝は、血栓形成を抑制し赤血球変形能を高めることが証明され、霊芝の臨床効果を裏付ける根拠となる。また霊芝は血液の凝固能への影響がないことも明らかになった。